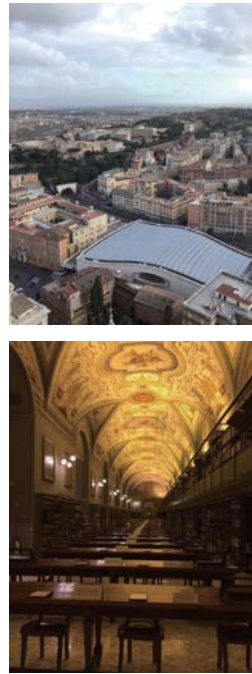


■社会貢献・連携事業

◎日本の大学初！パチカン図書館と協定を締結

パチカン図書館所蔵のアジア関連資料の研究を始動



Biblioteca Apostolica VATICANA

関西大学は、カトリック教会総本山・ローマ教皇庁のパチカン図書館と、ローマ大学、北京外国語大学の4者間で協定を結び、パチカン図書館の所蔵する文献の調査を開始した。パチカン図書館は、15世紀にローマ教皇ニコラウス5世が設立した世界最古の図書館の一つ。歴史的文献の重要コレクションを多数収容しており、16世紀にイエズス会の宣教活動でもたらされた東アジアの資料も保有している。その中には、日本や中国で活動した宣教師がローマ教皇に送った報告書や書簡、日葡辞書、葡漢字典、更には日本の漆器の箱、印章なども所蔵されていることが分かっている。

このたびの協定締結は、これまで詳細が明らかにされてこなかった日本を含めた東アジア関連資料の研究を進めることが目的。これらの研究分野におけるパチカン図書館との協定は、日本の大学としては初めての締結となった。本学は今年4月、東アジア文化研究の世界的拠点「KU-ORCAS (関西大学アジア・オープン・リサーチセンター)」を設立しており、今後、パチカン図書館が所蔵する資料のデジタルアーカイブ化とそれに伴う研究活動を主導していく。

◎今年も大規模避難訓練と防災イベントを実施

関大防災Day2017 ~広がれ！みんなの安全・安心！~



「安否確認シート」に記入する学生



災害用備蓄倉庫見学ツアー



消火器使用体験



炊出し試食会

関西大学では、毎年秋に全学を挙げて「関大防災Day」を実施している。今回は10月27日、千里山・高槻・高槻ミューズ・堺・北陽の5キャンパスで開催され、学生・教職員・地域住民ら約1万人が、地震避難・安否確認訓練に参加した。

千里山キャンパスでは防災イベントも開催し、炊出し訓練や火災時煙体験、消火栓・消火器体験、浸水時ドア開閉体験、災害用備蓄倉庫見学ツアーなどを実施。企業・団体による防災啓発ブースでは、災害対策用品や保存食等が紹介された。中でも、運搬や貯蔵が容易な軽油で走ることから災害時に役立つクリーンディーゼル車の展示や、JR西日本による非常ボタンの動作体験会は注目を集め、参加者にとって災害に対する意識がより一層高まる一日となった。

また、国内の大学では初となる、大規模災害時の効果的な燃料輸送についての共同研究及び石油燃料配送に関する基本契約がシュワ株式会社と締結され、調印式が行われた。今後、同社と社会安全学部は共同研究を進め、大規模災害時における燃料確保の課題解決に向けた先進的な取り組みを推進する。



避難器具体験

◎関西圏のテレビ5局トップによるパネルディスカッション

テレビはどこへ向かうのか



▲司会を務める社会学部黒田勇教授

10月21日、関西大学は社会学部創設50周年を記念して、「テレビ5局トップによるパネルディスカッション」を梅田キャンパスで開催した。ライバル各社が垣根を越えて集結したこのイベントは、テレビ5局とマスコミ業界で活躍する本学OB・OG組織「関西大学マスコミ人会」の協力により実現。学生の幅広い社会的見識の向上に資することを目的に開催された。当日は、メディアに興味をもつ本学学生・生徒や京阪神の他大学学生ら約300人が詰め掛けた。

パネラーは、朝日放送、関西テレビ放送、テレビ大阪、毎日放送、読売テレビ放送の5局の幹部。社会学部の黒田勇教授の司会のもと、関西圏における放送メディアの果たすべき役割や意義に焦点をあて、メディアの中で依然大きな影響力をもつテレビの未来について、闊達な議論が交わされた。その後の学生・生徒による質疑応答では、災害時における情報発信の在り方や、制作現場で求められる能力、やりがいについてなど、多様な質問が次々と投げかけられ、盛会のうちに終了した。



テレビ5局幹部を招いたパネルディスカッションでは熱い議論が交わされた

◎関西大学協賛の「大阪マラソン2017」開催

関大生700人が大活躍



11月26日、今年で7回目となる「大阪マラソン2017」(大阪府・大阪市・一般財団法人大阪陸上競技協会主催)が開催された。大会のスローガンは「みんなでかける虹」。沿道には130万人もの人々が詰め掛け、公募により選出された約3万2,000人のランナーに熱いエールを送った。

関西大学は第1回大会からオフィシャルスポンサーとして、地元「大阪」を盛り上げるため、毎年さまざまな形で大会運営に携わってきた。今大会も、ランナー40人をはじめ、給水、チャリティ募金、語学対応、清掃など、多くの学生と教職員がボランティアとして参加。沿道では応援団、JAZZ研究会、ダブルダッチ会Mix Package、お祭りダンスサークル「漢舞」、フラダンスサークル「coco girl」が、「ランナー盛上げ隊！」として熱く楽しい応援パフォーマンスを繰り広げ、大会に彩りを添えた。

語学対応ボランティア

清掃ボランティア



給水ボランティア

また、24日から26日には「大阪マラソンEXPO 2017」が開催され、24日と25日には、研究力と地域連携をテーマにブースを出展。株式会社をくぐ屋技研とシステム理工学部の倉田純一准教授がタッグを組み開発した、トレーニング用車いす「Joyfum(ジョイフム)」の展示・試乗会を行い、研究成果を披露した。また、大阪市商店会総連盟とともに行うランナー給食エイド「まいどエイド」の全20種類以上に及ぶ食品サンプルを展示。社会学部の劉雪雁准教授が率いる学生広報チーム「Lucky」によるPR活動と当日の給食活動にも注目が集まった。



トレーニング用車いす「Joyfum」



まいどエイド